

文化的景観
別府の湯けむり景観
保存計画

2012年
別府市

文化的景観 別府の湯けむり景観保存計画 目次

例言

序文

第1部 沿革と目的

第1節 計画策定に至る経過	1
第2節 計画の目的	1

第2部 文化的景観の調査報告

第1章 調査区及び地域の概況

第1節 調査区域	(事務局)	3
第2節 地域の概況	(事務局)	3
第3節 地域構造の変遷	(中山 昭則)	6

第2章 自然環境

第1節 地形・地質	(事務局)	17
第2節 水環境	(川野 田實夫)	25
第3節 気象	(川西 博)	30
第4節 植生と植物	(小田 毅)	36

第3章 温泉・湯けむりの自然科学的概要

	(由佐 悠紀)	
第1節 温泉の分類と別府の湯けむり		47
第2節 別府温泉の現状と温泉開発のあゆみ		49
第3節 温泉水の起源・滞留時間・水収支		54
第4節 沸騰泉と噴気		56
第5節 別府温泉を涵養する原温泉水		58
第6節 泉質の形成と各種温泉水の流動経路		60
第7節 地熱-温泉系のモデル(塚原-明礬-鉄輪-亀川)		62
第8節 別府温泉の変化		65

第4章 歴史の変遷

第1節 湯けむり景観から見た別府温泉の歴史	(飯沼 賢司)	69
第2節 江戸時代の別府温泉	(小泊 立矢)	74
第3節 近現代の別府温泉	(永野 康洋)	84

第5章 温泉・湯けむりの民俗学的概要		
第1節 別府温泉と上総掘り	(段上 達雄)	93
第2節 温泉の給湯	(事務局)	97
第3節 祭り等との関わり	(事務局)	100
第4節 食文化との関わり	(西澤 千恵子)	105
第6章 温泉・湯けむりに関する文化財		
第1節 地獄	(事務局)	115
第2節 湯の花	(恒松 栖)	122
第3節 建造物	(佐藤 誠治・姫野 由香)	131
第7章 温泉・湯けむりの利用実態	(中山 昭則)	
第1節 温泉と蒸し湯の利用実態		145
第2節 地獄と湯けむりの利用実態		148
第3節 湯の花の利用実態		150
第4節 蒸し湯などの入湯習俗		153
第8章 温泉観光の過去と現在	(中山 昭則)	
第1節 観光様相の歴史的展開		157
第2節 観光客の推移		180
第3節 湯治宿の状況		187
第4節 湯治客の意識		193
第9章 温泉・湯けむりの芸術文化的概要		
第1節 美術文化との関わり	(事務局)	197
第2節 文学との関わり	(倉田 紘文)	205
第10章 景観構造の分析	(姫野 由香)	
第1節 調査事業の概要		213
第2節 住民による対象地域の景観認知		217
第3節 外来者による対象地域の景観認知		231
第4節 調査地域における選好景観の特性分析		235
第5節 古写真にみる対象地域の景観特性と景観重要地域		238
第6節 歴史変遷による景観の変容		242
第7節 重要文化的景観を構成する景観構成要素の抽出		250
第11章 まとめ	(段上 達雄)	281

第3部 文化的景観保存計画

第1章 序

第1節 計画策定の背景と目的	297
----------------	-----

第2章 調査対象の概要

第1節 文化的景観の位置及びその範囲	299
第2節 文化的景観の歴史と地名の由来	301
第3節 「原風景形成期」について	302

第3章 文化的景観の保存に関する基本方針

第1節 保存管理の基本方針	311
第2節 運営体制の基本方針	312
第3節 整備活用の基本方針	313

第4章 土地利用に関する事項

第1節 土地利用の変遷による重要なゾーン	317
第2節 現状景観の可視頻度に配慮した土地利用の方向性	321
第3節 土地利用の方針	324
第4節 既存の法体系	324

第5章 重要な構成要素と生活・生業維持の方針

第1節 文化的景観を構成する要素の抽出	329
第2節 重要な景観構成要素	333
第3節 温泉資源の管理	385
第4節 重要無形民俗文化財「別府明礬温泉の湯の花製造技術」の取扱いについて	385

第6章 保存管理の方針

第1節 土地利用の変遷と地域特性によるゾーニング	387
第2節 生活・生業と住民意見に基づいた今後の行為規制の方向性	389
第3節 行為規制の方針	404

第7章 運営体制の方針

第1節 現状の地域団体	407
第2節 主な景観構成要素の今後の管理・運営	408

第8章 文化的景観の整備に関する事項

第1節 重要な構成要素の今後の整備・活用	415
第2節 整備の将来像	416
第3節 文化財の活用に関する計画	429